

大学合格後入学式までに取り組んでほしいこと

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。本日も「開倫塾の時間」をお聴き頂き、ありがとうございます。

先週の土曜日と日曜日(19、20日)にセンター試験が行われ、翌日のほとんどの新聞には、その問題・解答が掲載されましたが、皆さんご覧になりましたか。

時間をかけてゆっくり解けば、中学3年生や高校1年生でもできる易しい問題が多かったように思います。ただ、問題量が多いので、基礎的なことを身に付け、練習を積んでいなければよい点は取れません。ですから、来春センター試験を受ける方は、これから基礎的な勉強の積み重ねをお願いしたいと思います。

ところで、昨今はセンター試験を入学入試のかわりにするという大学が非常に多くなりましたので、大学入試はこれでお終いという方も大勢いらっしゃるでしょう。

現在の日本では、高校卒業生の50%が4年制の大学に進学します。短大や専修学校進学を含めると76%、浪人生を入れると80%の人が、上の学校に進学しようとしています。これは、大学の大量化ですばらしいことです。大学の定員が増加したこと、少子化により進学希望者が減少してきたこと、一人当たりのGDP(国内総生産)が少し上がってきたことも、その理由としてあると思います。日本は、デフレとはいえ、GDPは少しずつ上がっていますので、多くの人が大学等に進学できる状況になりました。これは、国民一人ひとりが人生においてさまざまな選択肢を得られるという観点からもすばらしいと思います。

ただし、問題が1つあります。大学や短大・専門学校等には、厳しい教育や研究に耐えられる学力を身に付けている学生ばかりが入学してくるわけではありません。易しい試験で合格した学生、あるいはAO入試という正式な科目の試験を受けないで入学する学生も何割かいます。そこで大きな問題になるのが、学力不足問題です。

この問題を解決するには、自分で勉強する以外にありません。入学式が行われるのは4月上旬です。入学が決まった方は、それまでに2か月程ありますので、その間に高校で十分勉強してこなかった科

目の教科書をもう一度丁寧にやり直すことをお勧めします。特に、5科目の中で大学の授業に耐えられないというものは、必ず勉強し直しておいて下さい。

例えば、医学部に入学が決まったのに、高校の時に生物をあまり勉強していなかったというのでは困ってしまいます。中学の生物の知識で医学部の授業に臨んだのでは、間違いなく授業についていけませんので、ぜひ勉強しておいて下さい。また、法学部や経済学部などに進むのに、倫理社会や政治経済をあまり勉強していない方もいます。これでは話になりませんので、この期間に勉強して下さい。現代社会が不十分であれば、これも勉強しましょう。理工学部で学ぶ方が、数学の微分・積分の習得が不十分であれば、授業や研究についていくことができませんので、確かなものにしておいて下さい。地球環境を学ぶのに、地学を勉強していないのでは大変なことになります。地学は高校ではあまり履修しない科目ですが、中学校で既習した知識だけで大学の授業を受けるのは困難です。ですから、入学式までに、高校の内容の地学を勉強したほうがよいと思います。

現代の高校教育の最大の問題は、卒業生のほとんどが大学等に進学することがわかっているにもかかわらず、大学の授業や研究に必要な科目を履修させないということだと思えます。とにかく、どこかの大学に合格させなければということばかり考えて、受験に必要な科目に重きを置き、高校で本来勉強しなければならないものをさせないという傾向にあるようです。これでは、大学の授業や研究に耐えられるだけの学力を身に付けることはできません。ですから、合格が決まってから入学式までの間に、自分で勉強するしかないのです。

自分でやってわからないところは、高校や予備校、塾の先生に恥ずかしがらずに聞いて下さい。入学式までに終わらなかった科目は、夏休みまで、もしくは1年生が終わるまで、あるいは2年生になるまでに終わらせようと目安を決めて、それをやり遂げましょう。

大学によっては、大衆化した大学の現状を踏まえて、アメリカのようにリメディアル教育というか、高校で学習が足りなかった科目を一所懸命教えるところもあります。しかし、そのような大学はまだ少ないですから、不足している内容を自分の力で補う努力をしていただきたいと希望します。これからが専門の勉強ですので、皆さんの頑張りを期待しています。